

## 第6回近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会 議事概要

開催日時：平成22年3月9日(火)13時00分～15時00分

場所：ホテル京阪京都 2階 桜の間

出席委員：7名

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 決定事項</li><li>2. 審議<ul style="list-style-type: none"><li>一 一庫ダム定期報告書(案)</li><li>一 一庫ダム湖活用環境整備事業 事後評価(案)</li></ul></li><li>3. その他</li></ol> |
|--|

### 1. 決定事項

「一庫ダム定期報告書(案)」は、フォローアップ委員会における意見を踏まえて反映できる箇所を修正し、委員長に最終確認することです承された。

なお、「一庫ダム湖活用環境整備事業 事後評価(案)」は、了承されたため事業評価監視委員会へ来年度早々に報告する。

### 2. 審議の概要

#### 一庫ダム定期報告書(案)について

事務局より「一庫ダム定期報告書(案)」について説明がなされた後、資料説明に対して質疑応答が行われた。主な意見は以下のとおり。

- ・ 洪水調節については、中小洪水に対する対応を重視し計画変更になっているが、毎年、河川改修は進んでいることなどから本来の計画に戻す検証を今後していただきたい。
- ・ 貯水池水質については水質障害が生じているのであるから、変化がないといえない。アオコが毎年発生している原因は何か。  
COD、T-Nが近年上昇している。T-Nのうち無機態窒素の割合が多く、そのことがアオコの発生に至っていると考えられる。問題視しており曝気を増やし、水質改善に取り組んでいく。
- ・ 植生図の植生割合が定期報告書(6-122)にあるが、平成8年と平成12年の群落の標記が全く異なる。調査結果について確認していただきたい。
- ・ 下流の土砂供給やフラッシュ放流における影響について、魚類、底性生物のみではなく植物についても調査していただきたい。

一庫ダム湖活用環境整備事業 事後評価（案）について

事務局より「一庫ダム定期報告書（案）」について説明がなされた後、資料説明に対して質疑応答が行われた。主な意見は以下のとおり。

- ・ 事業による環境の変化は特に認められないとしているが、具体的なデータが出されていない。元々ダムによって自然が一旦破壊されて出来た裸地を利用しただけのものであり、あたかも自然を全く壊さずに行ったかのような表現は気になる。
- ・ 車で来た時のトラベルコストはどのように計算しているのか。来訪者の約95%が車で来られており、ガソリン代と高速道路料金をトラベルコストとして算定している。
- ・ 車で来られる方が多いということで、公共交通機関でもっと行きやすくする方法を考えてはどうか。イベントの時だけでもバス便を出すなど工夫があっても良いのかなと思う。公共交通機関であれば電車とバスを乗り継いで行くことになるが、今後利用状況等を見ながら、実際に公共交通機関を扱っている方々と調整することはあり得ると思われる。
- ・ ガソリン代や社会情勢の変化により便益の評価も少し変わるかも知れないが、レクリエーションの評価手法としてはトラベルコスト法というのは一定の評価があり、こういったダム湖活用事業の評価手法としては、大体これで良いかと思われる。また、同種の事業の調査、評価のあり方としても、いろいろ精度を上げないといけないという点はあるかと思われるが、これで良いかと思われる。
- ・ 今回は、とにかくB/Cを出されたということに意味があるのかと思われる。しかし、一般論として、人に多く来てもらうことが良いことという評価によるものと思われ、もしこれが山奥の本来人が行くべきでない所だとすれば、人が多いのはマイナス評価ということになるので、今後管理も含めその地域性等についても是非考えてみてほしい。

以 上